

演劇入門 1・2

火2 高橋信良先生

キーワード: ギリシア悲劇 ギリシア喜劇 ローマ演劇 フランス演劇 古典主義演劇
演劇理論史 演技論 小山内薫 坪内逍遙 小劇場運動

Web

授業のテーマに関連したデータベースやサイトです。

- ・ Japan Knowledgeジャパンナレッジ【学内限定】
→ キーワードを使って検索すると「日本大百科全書」などの辞典の該当項目を読めます。
関連するウェブサイトなども検索できます。
- ・ theatre-contemporain.net【<http://www.theatre-contemporain.net/index.html>】
→ フランス現代演劇についての総合的なサイトです。
- ・ 日仏演劇協会【<http://www.sjth.jp/>】
→ リンク集には、関連の学会・協会、研究機関、劇団・劇場のサイトが紹介されています。
- ・ 近代デジタルライブラリー【<http://kindai.ndl.go.jp/>】
→ 坪内逍遙の『劇と文学』小山内薫の『演劇新声』など、明治に刊行された図書がweb上で読めます。

図書

本には、テーマに関連する内容がまとめられています。授業のテーマをつかむにはまずはここから始めましょう。

- ・ 『俳優修業』第1部 新装版 スタニスラフスキー著 山田肇訳 未来社 1975
- ・ 『俳優修業』第2部 新装版 スタニスラフスキー著 山田肇訳 未来社 1975
→ ロシアの演出家スタニスラフスキーの演技論
★【本館閲覧室4階 778.3/S786】
- ・ 『演劇とその分身』(アントナン・アルトー著作集1) アントナン・アルトー著 安堂信也訳 白水社 1996
→ アントナン・アルトーの30年代の講演や評論で構成されています。
★【本館閲覧室4階 958.78/ART】
- ・ 『今日の世界は演劇によって再現できるか:ブレヒト演劇論集』千田是也訳編 白水社 1962
→ 未発表の訳稿も含め、ブレヒトの重要論文を網羅した演劇論集です。
★【本館閲覧室4階, 本館1階書庫 770.4/B82】
- ・ 『安部公房の演劇』高橋信良著 水声社 2004
★【本館閲覧室4階 912.6/ABE】
- ・ 『新劇年代記』戦前編 戦中編 戦後編 倉林誠一郎著 白水社 1966-1972
→ 大正13年(1924年)から昭和29年(1954年)までの日本における演劇上の出来事を記録。公演ごとに演目、スタッフ、配役、入場料、劇場、批評等が掲載されています。
★【本館閲覧室4階 775.2/KU51】
- ・ 『劇場: 建築・文化史』S.ティドワース著 白川宣力ほか訳 早稲田大学出版部 1986
→ 古代ギリシアから現代までの劇場の歴史が書かれています。
★【本館閲覧室3階 523/GEK】
- ・ 『世界の演劇文化史』永野藤夫著 原書房 2001
→ 古代ギリシアから現代まで戯曲と演劇文化の流れを紹介している本です。
★【本館閲覧室4階 902.2/SEK】

演劇に関する図書は、分類番号が「770」～「779」の書棚にありますので、直接その場所に行って、どのような本があるのか手にとってみましょう。

** ★の付いている図書は、授業期間中(4月～8月上旬)は本館1階パスファインダーコーナーにあります。(館内利用のみ)**

雑誌

雑誌には図書よりも最新の細かいテーマを扱った記事が載っているので、実際に手にとって眺めてみましょう。

- ・ 『テアトロ』カモミール社 月刊
→ 現在の日本の演劇に関する批評と情報と戯曲を三本柱とする演劇専門誌。

【本館雑誌閲覧室 雑誌分類:77】

参考図書(辞書・事典等) 初めてのテーマは、百科事典や主題別の事典などでおおよその内容をつかみましょう。

- ・『演劇百科大事典』第1巻-第6巻 早稲田大学演劇博物館編 平凡社 1960-1962
→ 日本演劇を中心に、内外古今の演劇について14,000項目を収録し解説しています。 【本館参考 770.3/ENG】
 - ・『西洋演劇用語辞典』テリー・ホジソン著 鈴木龍一 [ほか] 訳 研究社出版 1996
→ 学生や一般読者を対象に、古代ギリシアから現代まで演劇の現場で使用する用語を解説した辞典です。 【本館参考 770.033/SEI】
- *****「本館参考」にあるものは図書館内で利用して下さい。*****

戯曲を読んでみよう

- ・『オイディプス王』(岩波文庫) ソポクレス著 藤沢令夫訳 岩波書店 1967 【本館閲覧室4階小型 991/SOP】
- ・『三文オペラ』(岩波文庫) ブレヒト作 岩淵達治訳 岩波書店 2006 【本館閲覧室4階小型 942.7/SAN】
- ・『安部公房戯曲全集』新潮社 1970 【本館閲覧室4階 912.6/A12】

日本の演出家が語る演劇

- ・『演劇入門』(岩波新書) 千田是也著 岩波書店 1966
→ 築地小劇場に参加し、俳優座代表となった千田是也が演劇の手引書として書いた本。 【本館閲覧室4階小型 77】
- ・『演劇ってなんだろう』井上ひさし編 筑摩書房 1997
→ 井上ひさしを中心に演劇関係者たちが語り合う座談会形式の演劇論。 【本館閲覧室4階 772.1/ENS】
→ 井上ひさしの公演のビデオもあります。『頭痛肩こり樋口一葉』(ビデオ)、『父と暮せば』(ビデオ) 【本館視聴覚資料室】
- ・『演出術』蜷川幸雄,長谷部浩著 紀伊國屋書店 2002
→ 蜷川幸雄の発想の原点や演出の技法について、主な演出作品を網羅しながらインタビュー形式でまとめています。 【本館閲覧室4階 772.1/ENS】
- ・『演技と演出』(講談社現代新書) 平田オリザ著 講談社 2004
→ 優秀な俳優の条件、演出家はなぜ必要なのかなど、芝居づくりの基本がわかる入門書。 【本館閲覧室4階小型 771.7/ENG】
- ・『河童が語る舞台裏おもて』妹尾河童著 平凡社 1987
→ 舞台美術家の妹尾河童が、舞台製作の裏話やタネを明かしてくれています。 【本館閲覧室4階 771.5/SE72】

パスファインダー入口 (<http://www.ll.chiba-u.ac.jp/pathfinder/>)
作成: 千葉大学附属図書館 2007.4.12